

日韓通訳・翻訳学科

1 年次

授業案内（シラバス）

日韓通訳・翻訳学科

1年次

(韓国語ビジネスコース)

授業案内 (シラバス)

2019年度 日越・日韓通訳翻訳学科 共通科目授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
中国語入門	1・2年次	4	李偉	火曜日・3時間目

概要

本授業は、中国語の正しい発音、簡単な会話、基本文法を習得することを目的とする。まず中国語を正しく発音でき、同時に正確に聞き取れるように訓練する。その上で基礎文法を学び、会話練習や作文などを平行して行うことを通じて中国語の基礎を築く。

到達目標

中国語の発音、そして中国語の基礎文法と簡単な会話の習得を目標とします。

受講要件

なし

評価方法

期末試験の成績を60%とし、普段の小テストの成績や授業の態度を40%として、総合評価する。

テキスト

「中国語はじめの一步」
白水社

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 中国語について・声調・単母音	1 第6課 「動作の完了」「所在」・助動詞「想」
2 複合母音・音の比喩・練習	2 トレーニング・練習問題だど
3 鼻母音・音の比較・練習	3 第7課 介詞・「存在」表現・反復疑問文
4 第1課 “是”の文・人称代名詞	4 トレーニング・練習問題だど
5 トレーニング・練習問題など	5 第8課 「時間量」・助動詞「得」介詞「从」
6 第2課 疑問詞疑問文・“的”の用法・副詞	6 トレーニング・練習問題だど
7 トレーニング・練習問題だど	7 中間テスト
8 第3課 動詞の文・「所有」を表す文だど	8 第9課 「過去の経験」・「是～的」の文
9 トレーニング・練習問題だど	9 トレーニング・練習問題だど
10 第4課 形容詞の文・量詞・指示代名詞	10 第10課 助動詞“能”“会”・「動作の様態」
11 トレーニング・練習問題だど	11 トレーニング・練習問題だど
12 第5課 日付・時刻表す語・数字	12 第11課 「動作の進行」・選択疑問文
13 トレーニング・練習問題だど	13 トレーニング・練習問題だど
14 前期期末テスト	14 後期期末テスト
15 追試予備日	15 追試予備日

教員紹介

大学院修士課程修了後、東京外語専門学校とJALアカデミーの中国語講師として経験を積む。現在は本校とほかの大学の教師として活躍中。実務経験に基づいて、中国語の授業を展開する

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
会話演習1	1年次	4	金志訓	金曜日・1時間目

概要

初級学習者のための会話演習。教科書の内容にとらわれず、実践かつ実用的な会話の表現を身につける。実際の会話場面を想定した会話文をはじめ、ロールプレイや簡単なゲームなどを通して学習者の発話を促し、韓国語を発することに自信を持たせる。視聴覚資料を活用し会話場面に対する理解を深めると同時に聞く能力を伸ばす。

到達目標

様々な場面における会話練習を通して実践的なコミュニケーション能力を伸ばすことを目標に、基本的な言葉や文型を使って簡単な説明や意見を話すことができるようになる。

受講要件

韓国語コース初級クラス

評価方法

出席 + 授業態度 + 試験
グループ活動が多いため、必ず参加すること。

テキスト

その都度配布

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 発話練習	1 友達を誘う①(表現練習)
2 一週間のスケジュール	2 友達を誘う②(ロールプレイ)
3 一日のスケジュール	3 おすすめのデートスポット
4 自分の部屋を紹介	4 友達を慰める・励ます①(表現練習)
5 ウサギとカメ	5 友達を慰める・励ます②(ロールプレイ)
6 料理の注文	6 韓国旅行会話
7 買い物練習	7 旅行の計画①(表現練習)
8 K-Pop①	8 旅行の計画②(ロールプレイ)
9 接続詞を利用して話す	9 K-Pop②
10 家族の呼称	10 手伝いを申し出る①(表現練習)
11 理由を話す	11 手伝いを申し出る②(ロールプレイ)
12 順番に沿って話す	12 私のしたい結婚式
13 行き方を説明する	13 私が好きな人①(表現練習)
14 ショッピング	14 私が好きな人②(ロールプレイ)
15 旅行の経験を話す	15 私の好きなもの・嫌いなもの

教員紹介

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
韓国語1	1年次	24単位	金秀惠 文殷正 栗畑	1週間に6コマ(リレー式)

概要

韓国の大学で用いられている韓国語教材を使用して、初級～中級レベルの語彙・文法を中心に体系的にマスターする。同じテキストで複数の教員がリレー方式により授業を行う。語彙・文法をしっかりと身に付けたうえで、読解・聴解などの理解能力を養うとともに、作文・会話などの表現能力もバランスよく駆使することができるよう、韓国語の総合能力を高めるための授業である。

到達目標

前期: 韓国語能力試験 1級
後期: 韓国語能力試験 2級

受講要件

韓国語ビジネスコース
初級クラス

評価方法

出席率(20%)＋受講態度(20%)＋小テスト(20%)
＋期末テスト(40%)
※必ず試験に出席すること。

テキスト

『ソウル大 韓国語』
1A,1B,2A,2B
ソウル大学校言語教育院

参考書

『ソウル大 韓国語』のワークブック配布

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 ハングルの読み方	1 14課 この服を着てみてください。
2 1課(1A) こんにちは。	2 15課 旅行に行きたいです。
3 2課 これは何ですか。	3 16課 私の家に来られますか。
4 3課 韓国語を勉強します。	4 1課(2A) 始めまして。
5 4課 どこにありますか。	5 2課 趣味は何ですか。
6 5課 週末友達に会いました。	6 3課 コンサートに行ってみましたか。
7 6課 いくらですか。	7 4課 服が少し大きいようです。
8 7課 天気はどうですか。	8 5課 どこに行けばいいでしょうか。
9 8課 映画を見ませんか。	9 6課 飛行機で送ったらいくらですか。
10 9課(1B) この方はどなたですか。	10 7課 韓屋村がどこにあるのか知っていますか。
11 10課 今何時ですか。	11 8課 本当に残念です。
12 11課 風邪を引きました。	12 9課 お問い合わせしたいことがあります。
13 12課 もしもし。	13 10課(2B) 何食べる?
14 13課 ソウル駅に行ってください。	14 11課 運動を少ししてみたらどうですか。
15 前期期末試験	15 後期期末試験

教員紹介

金秀惠: 特許法律事務所勤務経験あり(主な仕事: 翻訳、通訳)、企業の通訳及び翻訳業務経験多数、韓国語学校で韓国語講師として勤務
文殷正:
栗畑利枝: 韓国慶熙大学校韓国語学科卒業。韓国語教師資格2級、通訳案内士資格取得。大学4年次で韓国大使館韓国文化院にてインターン研修ののち法務省をはじめとする官公庁やJOC強化選手に韓国語を指導。現在は専門学校で講師として韓国語及び韓日翻訳を指導。

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
韓国語能力試験対策 I	1年次	4	宮内	金曜日・2時間目

概要

韓国語能力試験は、韓国で生活するために必要な能力を客観的に測定するために作られたものであり、Iは初級学習者を対象としている。Iの2級に合格すれば、日常生活で最低限必要な言語運用能力を有していると認められる。授業では、10月の試験に向けて、科目毎に対策を行っていく。また、過去問を解きながら、試験の出題形式にも慣れてもらう。

到達目標

10月の試験で、Iの2級を高得点で合格することを目標とする。
試験領域は、聞き取り(40分)と読解(60分)であるが、問題を解くために必要な単語(1,500-2,000字)の習得を重点的に行くと同時に、既習範囲の文法の問題を解きながら、完全に理解できることを目指す。

受講要件

韓国語コース初級クラス

評価方法

出席率・平常点＋小テスト＋期末テスト
※授業を5回以上欠席した者には、単位を付与しない。

テキスト

・『TOPIK 한국어능력시험』한국어능력시험연구회(2015)
・『쉽게 배우는 한국어 읽기・쓰기 초급』엄태상(2013)
など

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション	1 TOPIK実践模擬試験①読解
2 TOPIKの概要	2 TOPIK実践模擬試験②聴解
3 TOPIK頻出単語	3 TOPIK II の概要
4 TOPIK頻出単語	4 TOPIKの作文について
5 TOPIK頻出単語・TOPIK出題形式 読解①	5 初級作文練習
6 TOPIK頻出単語・TOPIK出題形式 聴解①	6 初級作文練習
7 TOPIK頻出単語・TOPIK出題形式 読解②	7 原稿用紙の書き方・ハンダ体
8 TOPIK頻出単語・TOPIK出題形式 聴解②	8 作文タイプ①
9 TOPIK頻出単語・TOPIK出題形式 読解③	9 作文タイプ②
10 TOPIK頻出単語・TOPIK出題形式 聴解③	10 作文タイプ③
11 TOPIK頻出単語・TOPIK出題形式 読解④	11 作文タイプ③
12 TOPIK頻出単語・TOPIK出題形式 聴解④	12 TOPIK II 実践模擬試験①読解
13 TOPIK実践模擬試験①読解	13 TOPIK II 実践模擬試験②聴解
14 TOPIK実践模擬試験②聴解	14 TOPIK II 実践模擬試験③作文
15 期末テスト	15 期末テスト

教員紹介

担当教員は大学にて朝鮮語を副専攻として学び、日韓関係史で博士課程を修了した。また、関連資格としては、「韓国語教員養成課程」修了の資格を有している。韓国語教育歴は4年である。韓国語教育のみならず、韓国文化・歴史の知識・経験から幅広い教育が可能である。

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
日韓文化比較	1年次	4	金志訓	金曜日・3時間目

概要

主に日本と韓国の文化を学習し、その違いを考え、自分の経験や考えをグループで話し合う授業。衣食住や冠婚葬祭などを中心としたテーマについての一般的な話を映像や統計などで確認し、自分の国や出身地との違いを他の学生と共有する。またグループで話し合った内容を発表することで他のグループと情報を共有する。

到達目標

文化の違いから見られるそれぞれの国の人々の考え方を確認し、その違いについて話し合うことで、文化の理解だけではなく、人々の意識についての理解を広める。

受講要件

日韓通訳翻訳学科1年生の必須科目

評価方法

出席＋授業参加度＋発表

※発表の準備や発表に参加しない場合減点

テキスト

その都度配布

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 文化とは？	1 地理情報
2 食事マナー	2 日本の観光地
3 食事文化	3 韓国の観光地
4 季節の食べ物	4 葬儀
5 食事文化に関する映画	5 墓・仏壇・納骨堂
6 発表の課題と準備	6 最近のお葬式の傾向
7 発表・質疑応答・評価	7 発表の課題と準備
8 結婚に対する意識	8 発表・質疑応答・評価
9 伝統の結婚式	9 住宅事情と引っ越し
10 結婚の変遷	10 自宅訪問のマナー
11 結婚のマナーや費用	11 お酒に関する文化やマナー
12 発表の課題と準備	12 お茶や飲み物
13 発表・質疑応答・評価	13 発表の課題と準備
14 学校文化・受験	14 発表・質疑応答・評価
15 80～90年代の文化	15 お風呂

教員紹介

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
表現演習1	1年次	4	栗畑	火曜日・2時間目

授業の到達目標

ハングルの形と音に早く慣れ、韓国語独特の表現を身につけて使えると同時に言語以外の韓国に関する知識を深める。相手に合わせた話し方、場面ごとにふさわしい表現ができるようになることを目標とする。

講義概要

前期ではハングルの形や音に慣れるために歌、ゲームを中心に楽しく、わかりやすく定着させていく。後期では既習文法をもとに場面ごとにふさわしい表現を学ぶ。

受講要件

韓国語コース初級クラス

評価方法

成績40%、出席及び授業参加度30%、課題30%

テキスト

教材配布

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 教室で使う言葉、挨拶言葉	1 読解と作文「私の趣味」
2 不規則なハングルの読み方(復習)	2 昔話「三年峠」
3 単語クイズ、ビンゴゲーム	3 キムチケーキ
4 歌「I love you」歌詞を読む練習	4 不慣れな発音
5 出身はどちらですか「ロールプレイ」	5 チェジュ島旅行
6 助詞まとめ	6 病院での会話
7 数字、過去形、曜日の確認	7 シェアハウスと一緒に住んでいる人
8 原稿用紙の書きかた	8 韓国の伝統茶
9 連結語尾「고」の確認	9 私が大事にしている物
10 文末語尾「ㄹ까요」「습니다」確認	10 寂しい留学生活
11 どこで乗り換えますか。	11 歌「もう一年」
12 どこで乗り換えますか「ロールプレイ発表」	12 ソウルシティーツアーバス
13 読解と作文「卒業式」	13 インターネットショッピング
14 「ㄹ수 있다」「아/어서」確認	14 セブンインタビュー
15 前期期末テスト	15 後期期末テスト

教員紹介

栗畑利枝:韓国慶熙大学校韓国語学科卒業。韓国語教師資格2級、通訳案内士資格取得。大学4年次で韓国大使館韓国文化院にてインターン研修のち法務省をはじめとする官公庁やJOC強化選手に韓国語を指導。現在は専門学校で講師として韓国語及び韓日翻訳を指導。

日韓通訳・翻訳学科

1年次

(通訳・翻訳コース)

授業案内 (シラバス)

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
翻訳・通訳概論	1年次	4	趙基銀	月曜日・2限目

概要

通訳と翻訳の基本概念、歴史、種類など基礎的なものを勉強する。さらに、職業としての通訳と翻訳はどういうものなのか、翻訳者や通訳者の役割はいかなるものであるかなど通訳・翻訳する際の心構えなどを学ぶ。

到達目標

通訳と翻訳の基本知識を習得する。

受講要件

通訳・翻訳の勉強をする人

評価方法

出席－40%
試験－50%
授業態度&参加度－10%

テキスト

『よくわかる翻訳通訳学』

参考書

『初めて学ぶ翻訳と通訳』

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション / 通訳とは？	1 職業としての翻訳①-文学、産業
2 翻訳・通訳と異文化コミュニケーション	2 職業としての翻訳② -法務、特許、医学、行政
3 翻訳-グローバルイゼしょんと翻訳	3 職業としての翻訳③ -コミュニティ、クラウドソーシング
4 通訳-グローバルイゼーションと通訳	4 職業としての翻訳④-視聴覚
5 日本の翻訳・通訳史①	5 メディアと翻訳・通訳
6 日本の翻訳・通訳史②	6 教育①-翻訳・通訳者コンピタンスと訓練
7 世界の通訳史①-アメリカ・中国	7 教育②-翻訳・通訳者の養成
8 世界の通訳史②-会議・同時通訳	8 外国語教育への応用①
9 世界の翻訳史①-西欧と中国	9 外国語教育への応用②
10 翻訳・通訳者の役割	10 翻訳練習-実践①
11 職業としての通訳①-会議、ビジネス	11 翻訳練習-実践②
12 職業としての通訳②-放送、司法/法廷	12 翻訳練習-実践③
13 職業としての通訳③ -コミュニティ、観光	13 通訳練習-実践①
14 翻訳とテクノロジー	14 通訳練習-実践②
15 前期学期末試験	15 後期学期末試験

教員紹介

通訳ガイド、医療通訳・翻訳（総合研究所）、ビジネス通訳(KOTRA, 韓国貿易協会など）、学術通訳などの通訳経験多数
韓国語講師、日本語講師

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
韓国文学翻訳 1	1年次	4	栗畑	金曜日・1限目

授業の到達目標

韓日翻訳を通して日常会話で使われる語彙は勿論、文語体の語彙も理解し、使用できる。またテキストを正確に把握し、おおむねふさわしい日本語に翻訳できる。漢字検定4級程度の漢字が読んで書ける。

講義概要

韓国の教科書に出てくる物語や一般文芸誌、小説を教材に、さまざまな文体や語彙、韓国語独特の言い回しにふさわしい日本語を探し翻訳していく。日本語の文章を作成するにあたり最小限知っておかなければならない漢字も共に学習していく。

受講要件

積極的に授業に参加できる人のみ。

評価方法

課題40%、試験40%、授業参与度20%、欠席は1回につき1点減点。

テキスト

講師作成のプリント

参考書

特にありません

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション、流行に敏感ですか	1 妻の料理の腕前1
2 青少年の服装	2 妻の料理の腕前2(解説と応用演習)
3 初心者運転、関連テーマ作文	3 少年と銀貨1
4 留学生が見たもの	4 少年と銀貨2(解説と応用演習)
5 ヒジンの誕生日	5 ミニドラマ「天の声を聴く」
6 対話「持ち物を褒める」	6 挨拶言葉(文化について話す)
7 中間確認とまとめ	7 中間確認とまとめ
8 私が見た夜空	8 ただで手に入ったお金
9 韓国の詩「流れ星」他	9 テペサムギョブサル
10 7年間の錯覚	10 冷蔵庫を見ながら
11 第一印象、関連テーマ作文	11 ロマンティックなミス
12 愛の傘	12 先生はお母さんみたいにならないで
13 後半確認とまとめ	13 後半確認とまとめ
14 前期期末テスト	14 後期期末テスト
15 テスト講評、補充、意見交換など	15 テスト講評、補充、意見交換など

教員紹介

栗畑利枝：韓国慶熙大学校韓国語学科卒業。韓国語教師資格2級、通訳案内士資格取得。大学4年次で韓国大使館韓国文化院にてインターン研修ののち、卒業後は法務省をはじめとする官公庁やJOC強化選手に韓国語を指導。現在は専門学校で講師として韓国語及び韓日翻訳を指導。

秀林外語専門学校

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
韓日翻訳演習1	1年次	4	坂本	木曜日・1限目

概要

翻訳とは、ある言語から言語への単純な変換ではない。その文章、状況に適合した表現、語彙を使って、翻訳分を読む人のことを考えて翻訳していくことが重要である。いろいろなテーマの文章を使い、母語に影響されない日本語らしい表現、慣用句、常用漢字、カタカナ語に注意しつつ、恥ずかしくない表現力ができることを目指す。また、通訳案内士試験翻訳問題にも対応していく。

到達目標

基本的な日本語らしい文章表現や漢字能力、カタカナ語を身につけ、日本社会で通用する翻訳力を身につけること。

受講要件

特になし

評価方法

平常点（出席率、授業態度）：20%
課題：30%
試験：50%

テキスト

自作テキスト

参考書

特になし

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 授業オリエンテーション	1 短文翻訳12形容詞副詞1
2 翻訳について	2 短文翻訳13形容詞副詞2
3 短文翻訳1名詞1	3 短文翻訳14接続詞
4 短文翻訳2名詞2	4 短文翻訳15慣用句1
5 短文翻訳3名詞3	5 短文翻訳16慣用句2
6 短文翻訳4名詞4	6 短文翻訳17外来語カタカナ語1
7 短文翻訳5名詞5	7 短文翻訳18外来語カタカナ語2
8 短文翻訳6動詞1	8 短文翻訳19コラム1
9 短文翻訳7動詞2	9 短文翻訳20コラム2
10 短文翻訳8動詞3	10 短文翻訳21エッセイ1
11 短文翻訳9動詞4	11 短文翻訳22エッセイ2
12 短文翻訳10動詞5	12 短文翻訳23社説1
13 短文翻訳11動詞6	13 短文翻訳24社説2
14 学期末試験	14 学期末試験
15 試験考察・講評	15 試験考察・講評

教員紹介

外務省専門調査員、通訳案内士、企業・官公庁通訳翻訳・韓国語講師

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
字幕翻訳	1・2年次	4	松本	水曜日・3・4時間目 後期のみ

概要

韓流ドラマの放送枠拡大、全放送番組の字幕放送化決定によって、日本では放送用字幕の需要が急増している。この授業では実際に映像翻訳を行うことで、字幕制作ソフト「SST」の操作と字幕翻訳の基礎的スキルを習得する。基本は韓日翻訳だが、留学生が希望する場合は日韓翻訳も行う。定員は20名程度を予定しており、欠席3回でF評価。

到達目標

日本人学生…韓日字幕翻訳の基礎的スキル、およびNHKが推奨する日本語表記（漢字表記、送り仮名など）の習得。
留学生…相手や場面、性別などに応じた自然な日本語表現の習得。

受講要件

通訳翻訳科、韓国語コース
中級以上の学生で出席率90%以上の者。

評価方法

出席、及び授業態度により評価。
試験は特に行わない。

テキスト

松本が実際に業務で翻訳した映像を用いる。

参考書

なし

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15

教員紹介

韓国への留学経験(1年6ヶ月)と勤務経験(5年)がある。帰国後は外務省の国際交流授業、アジア舞台芸術祭・日中韓環境教育ネットワークなど各種イベント・シンポジウム通訳、ガイドブック取材・執筆などさまざまな業務に従事。現在は日韓映像翻訳も行っている。

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
通訳実習1	1年次	4	松本	水曜日・1限目

概要

日本語と韓国語は漢字語をほぼ共有するために、韓国語ネイティブの学習者の場合、日本語の漢字語を読むときに意味だけを理解して読み飛ばしてしまうことが多く、正確な発音が身につけていないことが多い。この時間では徹底した実践を通して「理解語彙（文字を見て、あるいは聞いて理解できることば）」と「表現語彙（書いたり、話したりできることば）」のギャップを埋め、話し言葉としての語彙を増やし、豊かな表現力を身につけたい。

到達目標

日常生活ではあまり使うことのない上位概念の抽象語（政治・経済その他の専門用語など）が正しく発語できるようになること、話し言葉としての豊かな語彙力・表現力を身につけること。

受講要件

特になし。
授業中は帽子着用禁止。

評価方法

平常点（出席率及び授業態度）：50% 試験：50%
ただし学期ごとの出席率が80%以下の場合はFとする。

テキスト

自作テキスト
自作mp3ファイル

参考書

特になし。ただし受講に当たっては、データ移動・保存用のUSBメモリとヘッドフォンが必要。

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 夏休み前までは読み・シャドーイング中心で、9月に入ってから逐次通訳の形の演習を行う予定である。また筆記能力にも問題があり、長音・濁音が聞き取れないケースも多い（日本人の場合はパッチムの間違いが多）。よって「書いて覚える」ことにも主眼を置き、初出教材を扱う時、最初に音声を書き取らせ、毎回添削して学生に戻している。	1 高貴も基本的には読み書きとシャドーイングを逐次通訳形式と平行して行う。音声教材はさまざまな使用方法ができるため、学生のレベルに合わせてシャドーイングをさせたり通訳をさせたり、一律に同じ課題を与えることなく臨機応変に対処する予定である。
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15

教員紹介

韓国への留学経験（1年6ヶ月）と勤務経験（5年）がある。帰国後は外務省の国際交流授業、アジア舞台芸術祭・日中韓環境教育ネットワークなど各種イベント・シンポジウム通訳、ガイドブック取材・執筆などさまざまな業務に従事。現在は日韓映像翻訳も行っている。

秀林外語専門学校

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
韓日語彙・翻訳	1年次	4	劉哲宗	月曜日・1限目

概要

韓日・日韓翻訳の基礎的な部分を同時にやっていく。韓国語と日本語との違いに配慮しつつ、翻訳していく。

到達目標

日韓通訳翻訳学科1年のレベルを目標とする。

受講要件

日本語能力試験N3以上

評価方法

出席率、受講態度、宿題、中間・期末テスト

テキスト

『基礎翻訳・文型練習』配布

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション	1 ス～テ始まる重要単語、それを含む文章を翻訳①
2 韓国語 ㄱ～始まる重要単語、それを含む文章を翻訳①	2 その② 違いの明確化 質問
3 その② 違いの明確化 質問	3 その③ 反復練習 発展
4 その③ 反復練習 発展	4 ㅋ～始まる重要単語、それを含む文章を翻訳①
5 ㄴ～始まる重要単語、それを含む文章を翻訳①	5 その② 違いの明確化 質問
6 その② 違いの明確化 質問	6 その③ 反復練習 発展
7 その③ 反復練習 発展	7 ㅌ～始まる重要単語、それを含む文章を翻訳①
8 ㄷ～始まる重要単語、それを含む文章を翻訳①	8 その② 違いの明確化 質問
9 その② 違いの明確化 質問	9 その③ 反復練習 発展
10 その③ 反復練習 発展	10 ㅍ～始まる重要単語、それを含む文章を翻訳①
11 ㅎ～始まる重要単語、それを含む文章を翻訳①	11 その② 違いの明確化 質問
12 その② 違いの明確化 質問	12 その③ 反復練習 発展
13 その③ 反復練習 発展	13 その④ 長文練習 韓→日
14 その④ 長文練習 韓→日	14 総まとめ
15 中間テスト	15 期末テスト

教員紹介

日本語と韓国語の微妙な意味合いを活かしつつ、その翻訳には長年の経験と実績あり。

2018年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

秀林外語専門学校

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
日韓翻訳基礎	1年次	4	趙正圭	火曜日・1時間目

概要

<p>1. 日韓慣用表現演習 : テキストp1-40 日本語と韓国語、各々の言語の慣用句に相對する語句を例文を通して最も相応しい表現を調べる作業を続けることで言葉のニュアンスを身につける。</p> <p>2. 四字熟語及び諺 : p41-46 相応の四字熟語、もしくは類似している表現を学ぶ</p> <p>3. 慣用表現、四字熟語及び諺などは通訳や翻訳において基礎となるものであるため、日韓両方の用例を比較学習。特に慣用表現のポイントとして類似語の表現にも並行して学習する。</p> <p>4. 短文翻訳 : テキストp47-57 前述の一項から三項をベースにおきながら、様々な分野における短文を訳す演習。慣用表現での例文とは違い、文章を正確に読む力や文語体独特な表現に注意して訳すること。</p> <p>5. 記事及び時事問題の翻訳 : p58-76 実戦演習。政治、経済、社会、文化そして短編小説を訳す。 総合演習として記事及び時事問題をの实戦感覚で訳す演習。 注意点：例題の文の趣旨に合わせた文体を書くこと。先ず文の全体像を把握したうえで仔細なニュアンスにも気を付けること。1. 翻訳の基礎となる、①慣用表現②ことわざ及び四字熟語における日韓両方の用例を比較学習。特に慣用表現のポイントとして類似語の表現にも並行して学習する。</p>
--

到達目標

<p>本来、翻訳とは通訳とは異なり、第二の創作とも言えるほど翻訳者の個性が文章に表れることは否定できない。しかし、それは元となるものを正確に捉えているからこそできるものであって、根幹に流れる総意を正確に伝えなくてはならない。その為に最も基礎となるものをしっかりとおさえておくことは必然だと言える。一年次における翻訳基礎演習はそのような土台を作る基礎的なものである。第一言語を正確に捉え、第二言語に訳す作業においてベーシックな訓練を通して、二年次の翻訳通訳演習の授業に活かすことをその目的とする。</p>

受講要件

日韓通訳翻訳コース1年生

テキスト

日韓翻訳基礎及び演習 (講師制作)

評価方法

中間試験と期末試験による総合評価

参考書

--

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 日韓慣用表現演習：テキストp1-3	1 短文翻訳：テキストp51-53
2 日韓慣用表現演習：テキストp4-8	2 短文翻訳：テキストp54-57
3 日韓慣用表現演習：テキストp9-12	3 記事翻訳：テキストp60
4 日韓慣用表現演習：テキストp13-16	4 記事翻訳：テキストp61
5 日韓慣用表現演習：テキストp17-20	5 記事翻訳：テキストp62、63
6 日韓慣用表現演習：テキストp21-23	6 記事翻訳：テキストp64
7 日韓慣用表現演習：テキストp24-27	7 記事翻訳：テキストp65
8 日韓慣用表現演習：テキストp28-31	8 記事翻訳：テキストp66、67
9 日韓慣用表現演習：テキストp32-33	9 記事翻訳：テキストp68、69
10 日韓慣用表現演習：テキストp34-37	10 記事翻訳：テキストp70
11 日韓慣用表現演習：テキストp38-40	11 記事翻訳：テキストp72
12 日韓慣用表現演習：テキストp41-43 四字熟語及び諺	12 記事翻訳：テキストp73
13 日韓慣用表現演習：テキストp43-47	13 記事翻訳：テキストp74、75
14 短文翻訳：テキストp48-50	14 記事翻訳：テキストp76
15 定期試験	15 定期試験

教員紹介

<p>担当教員は韓国外語大を経て日本に留学し、東京外語大の日韓ビジネスコンサルティング会社でビジネスコーディネーター及び多数の通訳・翻訳を経験。2007年度から当専門学校で講師を務めている。</p>

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
実務通訳・翻訳 I	2年次	4	趙基銀	月曜日・1限目

概要

医療通訳・翻訳の実務に関わる表現などを勉強する。専門分野の一つである医療通訳・翻訳は単なる語学能力以外にも病気や治療に関する一定の知識を必要とする。ひいては患者に対する心配りまでも必要とされる。この科目では、医療通訳・翻訳の実務に関わる細かい表現および身体、病気に関わる表現を勉強する。

到達目標

医療通訳・翻訳ができる。

受講要件

N2レベル

評価方法

出席－40%
小テスト－10%
試験－50%
授業態度&参加度－10%

テキスト

国際医療観光実務日本語
入門編・深化編

参考書

『現場ですぐ使える医療通訳』

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション、病院診療科目・予約表現	1 処置・薬処方及び服用案内
2 受付・会計表現	2 検査・手術・入退院－①
3 カウンセリングのための単語・表現	3 検査・手術・入退院－②
4 受付・会計応用表現、	4 深化・診療表現①－人間ドック
5 診療表現①－美容	5 深化・診療表現②－人間ドック
6 診療表現②－内科	6 深化・診療表現①－眼科
7 診療表現③－皮膚科	7 深化・診療表現②－眼科
8 診療表現④－うつ病	8 深化・診療表現－歯科①
9 深化・診療表現①－美容	9 深化・診療表現－歯科②
10 深化・診療表現②－美容	10 深化・診療表現－皮膚科
11 深化・診療表現①－成形	11 深化・診療表現－整形外科
12 深化・診療表現②－成形	12 深化・診療表現－泌尿器科
13 深化・診療表現①－漢方	13 深化・資料表現－産婦人科
14 深化・診療表現②－漢方	14 人間ドック
15 中間テスト	15

教員紹介

通訳ガイド、医療通訳・翻訳（総合研究所）、ビジネス通訳(KOTRA, 韓国貿易協会など)、学術通訳などの通訳経験多数
韓国語講師、日本語講師

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
実務通訳・翻訳基礎Ⅰ	1年次	4	趙基銀	火曜日・2限目

概要

現在、日韓の間で貿易が盛んに行われており、商社や貿易会社などでは外国人の採用が増えている。また、貿易関連の日本支社は日韓の企業の間でのマッチング商談会などを多く開催している。その分、ビジネスの現場で即対応できる通訳・翻訳の実力が求められている。この授業では、実務に対応できるビジネス通訳・翻訳に必要な基礎的な表現を勉強する。

到達目標

通訳と翻訳の基本知識を習得する。

受講要件

評価方法

出席－40%
小テスト－10%
試験－40%
授業態度&参加度－10%

テキスト

『ビジネス日本語30時間』
『商談のための日本語』

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 オリエンテーション / 紹介する	1 説明①
2 挨拶をする①	2 説明②
3 挨拶をする②	3 意見①
4 電話をかける・受ける①	4 意見②
5 電話をかける・受ける②	5 賛成
6 注意をする・注意を受ける①	6 反対
7 注意をする・注意を受ける②	7 結論①
8 頼む・断る①	8 結論②
9 頼む・断る②	9 説得①
10 許可をもらう①	10 説得②
11 許可をもらう②	11 クレーム①
12 アポイントをとる①	12 クレーム②
13 アポイントをとる②	13 プレゼンテーション①
14 訪問する	14 プレゼンテーション②
15 前期期末試験	15 後期期末試験

教員紹介

通訳ガイド、医療通訳・翻訳（総合研究所）、ビジネス通訳(KOTRA, 韓国貿易協会など）、学術通訳などの通訳経験多数
韓国語講師、日本語講師

2019年度 日韓通訳翻訳学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	開講曜日・時間帯
時事翻訳	1年次	4	趙基銀	水曜日・2限目

概要

日韓、そして世界の各国の政治・経済・社会・文化に関するホットな話題を翻訳する。通訳者や翻訳者は常に対象言語が使われている国や世界のニュースなどをチェックし、勉強しておかなければならない。この授業では、日韓および世界の話題やニュースなどを翻訳する練習をする。

到達目標

通訳と翻訳の基本知識を習得する。

受講要件

N2レベル以上
TOPIK4級以上

評価方法

出席－40%
小テスト－10%
試験－40%
授業態度&参加度－10%

テキスト

プリント

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期	後期
1 日本の文化①-花見	1 日本の文化①
2 日本の文化②-衣替え	2 日本の文化②
3 日本の政治①-天皇	3 日本の政治①
4 日本の自然①-魚編漢字 / 小テスト	4 世界①
5 ジェンダー①-「KuToo」	5 日本の経済①
6 日本の経済①-景気	6 日本の自然①
7 世界①-地球温暖化	7 世界②
8 日本の政治②-政党	8 日本の社会①
9 世界①-LGBT	9 ジェンダー①
10 日本の社会①	10 日本の経済②
11 世界②	11 日本の政治②
12 日本の経済②	12 日本の社会②
13 日本の社会②	13 日本の政治②
14 世界②	14 世界③
15 前期期末テスト	15 後期期末テスト

教員紹介

通訳ガイド、医療通訳・翻訳（総合研究所）、ビジネス通訳(KOTRA, 韓国貿易協会など)、学術通訳などの通訳経験多数
韓国語講師、日本語講師